



社会福祉法人ゆうゆうが北海道医療大学（中央講義棟 10 階展望フロア）内で運営する「ダブルツールカフェ」は、この 4 月で丸 5 年を迎えました。カフェオープン時から働くお二人のスタッフは、障がいを持ちながらも自分の仕事に真面目に向き合い、お客様に心を込めて美味しいコーヒーなどを提供しています。今回は「どんな仕事をしているか」などを聞いてみました。

ラテアーティスト・元気で笑顔で接客します

田村 準起 さん（写真左）

カフェ業務の大部分を担当・縁の下の力持ち

塚本 華絵 さん（写真右）

## 田村さんに聞いてみました

カフェラテなどの注文があったら、ラテアートを書いてあげます。トラ・ねこ・ウサギなどのたくさんの動物や、ミッキーマウスやアンパンマンも書けます。絵を描くのが好きです。

ラテアートの楽しいところは、「（ピックでコーヒーを）すくって、書いて、（汚れたピックの先を）拭く」「すくって、書いて、

拭く」と繰り返して、水面に書くことです。美味しくなるように、落ちついて書いて、楽しいです。

## 塚本さんに聞いてみました

接客やドリンクづくり、食器洗いや掃除、何でもできます。（大学内で）出張販売をしたり、ペコペコのはたけのレストランへ手伝いにも行きます。

掃除は好きなので、家でもキレイに掃除をしています。家では動画を見ることも好きで、今度のお休みには自分

のお給料で映画を見に行く予定なので、とても楽しみです。



大学の構内での出張販売では、コーヒーやデザートなどを積んだワゴンを押して、大学教授の研究室などへ出向きます。注文を聞いて手早く商品を提供し、喜ばれているそうです。



↑ 田村さんイチオシの「トラ」

カフェラテのラテアートは、エスプレッソコーヒーを入れたカップに、泡立てたミルクを注ぎ水面に円を作ります。そして、周りの茶色い部分（コーヒー）をインク替わりにして、ピックで鼻や目などを手早く描いていきます。

ダブルツールカフェは平日 10 時～17 時の営業で、田園風景のパノラマが一望できます（一般の方も利用可能）。田村さんと塚本さんは「たくさんのお客さんが来てくれるとうれしい」と笑顔でお話してくれました。（3月8日取材）